

一般会計予算に対する討論

学校給食の民営化には反対！
公平・公正な行財政を

反対
です
討論

田母神節子議員

ホンダ寄居工場の操業に向けてインフラ整備を実施しながら「安心と活力のあるまちづくり」を進めるとありますが、後期高齢者医療制度の導入など、国の悪政の防波堤の役割を果たしておらず、鉢形城跡公園、歴史資料館の取り扱いはお粗末で他市町村の人を呼び込むものになっていません。また、学校給食の民営化には反対です。せめてセンターでの充実を願います。生涯学習活動を支える公共施設使用料の見直し、同和行政の決着などを初め、公平・公正な行財政を行なってほしいと考えます。

賛成
です
討論

めりはりのある予算計上を評価

稲山良文議員

厳しい財政状況の中で、めりはりのきいた予算計上で、特にホンダ新工場の操業に向けたインフラ整備に積極的な予算措置がなされたことがうかがえます。また、歳出の抑制として、真に必要な事業費の厳選に努めていること、最重点施策5項目も町民生活の安定と福祉の向上のため、スピード感がうかがえ、評価できるものと考えます。

賛成
です
討論

小中学校 校舎・体育館の耐震化、100%まであと一歩

石井康二議員

総額で前年度比13%の減ながら、教育費予算を増額させ、児童生徒1人ひとりに応じた教育支援策の強化等、計画的に施設の整備が進められています。特に、校舎・体育館の耐震化は約90%になり、県下でも上位にランクされたことに執行の努力がうかがえます。早期100%実現に向け、一層の努力をお願いします。

賛成
です
討論

財政健全化を進行中、さらなる努力に期待

本間登志子議員

国や地方の大変な経済状況の中、寄居町においては経費の削減、事務の効率化を図り、財政健全化を着実に進めている最中だと思います。また、町がホンダ寄居新工場とともに、住みよい活気ある町になるよう、さらなる努力で施策に取り組んでいただくよう強く要望します。



町民の生活へ

活かせ！
20年度予算

着々と工事進む、ホンダ新工場建設
写真は 上：西側より東側を望む
中左：西側駐車場エリア 中右：擁壁工事
下：中間部より小川方面を望む

予算可決 一般会計

本年度一般会計予算は、総額91億3664万1000円で、乳幼児・児童・高齢者障害者などの福祉のための予算およそ28億円を中心とした多くの事業が計画されています。特に今年度予算においては、ホンダ寄居新工場建設の関連工事をはじめ、企業誘致に対する積極的な事業展開がうたわれており、「自然と産業が調和する創造のまち 寄居」実現に向けたさまざまな取り組みが行なわれることになっています。

平成20年3月定例会では、本会議初日に津久井町長から平成20年度の実行政運営に関する所信表明・予算の概要説明があり、2日間にわたる予算審査特別委員会の審査を経て、7会計、総額およそ168億円の予算・議案を原案どおり可決・承認しました。また、一般質問には10人の議員が登壇し、さまざまな面から町政に対する質問が行なわれました。

平成20年度

町長所信表明

- ①企業誘致
企業立地に対する優遇措置の新設・環境整備の実施
- ②子育て支援
無料妊婦健診(5回)実施
- ③生涯学習施設整備事業
男女生涯学習施設整備事業の推進
- ④学校教育環境整備
小中学校へのインターネット環境の整備
- ⑤生活環境整備
道水路、上下水道の整備

推進！
5つの重点施策

近年、三位一体の改革による税源移譲が進み、国と歩調を合わせた事業全体の見直しが迫られるなど、地方公共団体を取り巻く状況は依然として厳しい状況下にあります。

そんな中、平成20年度の寄居町政執行に当たっては、「自然と産業が調和する創造のまち寄居」を将来像に掲げた第5次寄居町総合振興計画基本構想を踏まえ、5つの事業を最重点施策とし、前期基本計画に掲げた諸施策を積極的に推進するとともに、ホンダ寄居新工場の操業開始に向けたインフラ整備等を実施し、町民生活向上のため、「安心と活力のあるまちづくり」の実現に取り組みます。

また、「寄居町新生チャレンジプラン2006」に基づき、さらなる行財政改革に努めるとともに、既存の事務事業や組織の枠にとらわれることなく、全職員が一丸となって諸事業を展開し、町民福祉の向上に努めていくこととします。(以上、要旨)

3月定例会(3/3~21...19日間)

常任委員会(3/5・3/6・3/7)
予算審査特別委員会(3/10・3/11)